

製品・サービス動向-国内

■リコー：インタラクティブ ホワイトボード の新モデル「リコー インタラクティブ ホワイト ボード D5510」を新発売、遠隔地との 画面共有接続拠点数強化など

(1月13日)

株式会社リコー（東京都中央区）は、インタラクティブ ホワイトボードの新モデル「リコー インタラクティブ ホワイトボード D5510」（以下、リコー IWB D5510）を1月26日から発売する。



リコー インタラクティブ ホワイトボード D5510（オプションの専用スタンドを装着したもの）（リコー）

本製品は、2013年2月に発売した「リコー インタラクティブ ホワイトボード D5500」の後継機となる。フルHD対応の55v型ワイド液晶パネルを搭載。電子ペンは光遮断方式を採用。

電源を入れるだけで誰でもすぐに利用できることや、なめらかな書き心地、会議結果の保存・共有までを含めたシンプルで直感的な操作性、距離を超えたコラボレーションを実現するといった特徴がある。

ユーザから好評だった特徴はそのままに操作性や、遠隔地点との画面共有の接続可能台数、接続端子の追加な

どの拡張性の面で強化を行った。

操作性の面では、パソコンやタブレット端末などの資料を表示し、書き込みなどの共同作業をすぐに始められるところや、電子ペンでの滑らかな書き心地などの操作性を向上させた。なお、電源をオフにすると画面に表示した資料や書き込んだ内容を自動的に消去する。データの消し忘れによる情報漏えいを未然に防止する。

また、手書き文字をテキストデータに変換するOCR機能（14言語に対応）やスタンプ機能を新たに搭載した。議事録作成やファイル検索に便利な機能になる。

さらに、ネットワークを経由した遠隔拠点との画面共有については、接続可能台数を従来の4台から20台へと大幅に拡大した。パソコンやタブレット端末に搭載のウェブブラウザを用いて、リコー IWB D5510に表示・書き込みした内容の把握や情報の確認をリアルタイムに行うことができる。

これらのほか、HDMI端子やスピーカー端子が追加され拡張性が向上している。

リコー IWB D5510の価格はオープン。本体のほか、オプションとして、「リコー インタラクティブ ホワイトボード ペン タイプ1」（16,800円）、「リコー インタラクティブ ホワイトボード スタンド タイプ2」（オープン）、「リコー インタラクティブ ホワイトボード リモートライセンス タイプ1」（100,000円）を用意している。

リコーによると、ビジネスや教育現場におけるワークスタイル変革を支援するコラボレーションツールとして展開していくとしている。販売目標は、1,500台/年となっている。

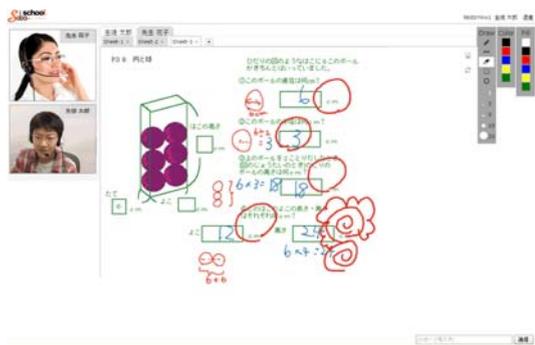
※関連記事（D5500）：2013年2月28日号

■SOBA プロジェクト：個別指導システム 「SOBA スクール」がブラウザに対応

(1月19日)

株式会社 SOBA プロジェクト（京都市下京区）は、学習塾など教育機関向け個別指導システム「SOBA スクール」（ソーバ・スクール）に、インストールが不要なブラウザ版（日本語・英語両対応）を1月19日にリリースした。

SOBA スクールは、ウェブカメラに映った先生と生徒がパソコンを使って個別授業を行う個別指導に特化したシステム（2010年4月発売、2014年英語版リリース）。学習塾経営者にとっては通塾が難しい離れた地域の生徒にも指導ができ、また、生徒の家庭にとっては自宅に居ながら塾の指導が直接受けられるとともに、塾の送迎やインフルエンザなどの病気感染の心配もないなど多くの利点がある。



ブラウザ版授業画面イメージ（SOBA プロジェクト）



先生用の授業作成画面（SOBA プロジェクト）

SOBA プロジェクトによると、これらの理由から、評価も高く利用者が増加しているという。

これまで授業画面の起動タイプには、パソコンにインストールするアプリケーション版を提供していた。今回、あらたにブラウザ版をリリースすることになった。ユーザとしてはインストール等の設定の手間がなくなるメリットがある。また、Windows と Mac の両 OS に対応し、パソコンと通信環境があれば場所を問わずワンクリックで授業が起動するため大変使いやすくなった。

なお、ユーザは、ブラウザ版とアプリケーション版のいずれかを選択し利用することができる。また今回、日本語および英語両方を同時にリリースする。料金は従来同様の1 ID 初期費用 5,000 円、月額 1,000 円（税抜）となっている。

■NTT アイティ：世界8カ所にオンプレミス ユーザ向けアクセスポイントを設置、低遅延 で安定した Web 会議環境を提供

(1月20日)

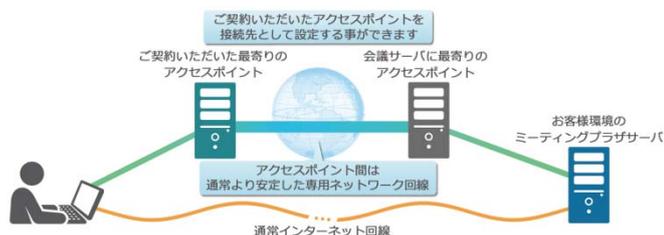
NTT アイティ株式会社（横浜市中区）は、2月より世界8カ所に Web 会議サービス「ミーティングプラザ」のアクセスポイントを設置し、オンプレミスユーザ向けに、高品質なネットワークをつないだ「ミーティングプラザ グローバルハイウェイ」の提供を開始する。

ミーティングプラザ グローバルハイウェイは、自社内にミーティングプラザサーバーを設置しているオンプレミスユーザ向けのオプションサービス。日本国内および複数の海外拠点をつないで Web 会議を開催する機会の多い利用者を想定したサービスとなる。

NTT アイティは、世界各地にミーティングプラザのアクセスポイントを設置、そのアクセスポイント間を専用ネットワークで結ぶ。

海外から Web 会議に参加する際に、もよりのアクセスポイントを経由することで、通常のリターンを利用するよりも、ネットワークの遅延や帯域変動の影響を軽減でき、

映像・音声・資料共有の品質が大幅に向上する。



アクセスポイントイメージ (NTT アイティ)

アクセスポイントは、アメリカ西海岸・東海岸、オランダ、シンガポール、オーストラリア、香港、中国、東京から選択が可能だ。

NTT アイティのミーティングプラザは、4,000社を超える導入実績を持つ Web 会議。従来から日本国内および海外向けに、PC やタブレットで利用可能な Web 会議サービスの提供を行ってきた。また昨年 12 月より、ASP サービス利用者向けに世界 8 か所に会議サーバとアクセスポイントを構築した世界網サービスの提供を開始。

今回のサービス機能拡充により、オンプレミス型利用ユーザからの「海外から Web 会議に参加する際により安定した状態で高品位に利用したい」との要望に応える。NTT アイティによると、今回のサービスはオンプレミス型 Web 会議としては初めての世界規模でのサービスとなるという。今後も、新たな海外ロケーションでの増設を計画している。

■日本ブレケケ：無料電話会議サービス「テレカン君」が WebRTC に対応

(1月27日)

株式会社日本ブレケケ（東京都豊島区）は、同社の無料電話会議サービス「テレカン君」を WebRTC 対応にしたと発表。

テレカン君は、2010年4月から日本ブレケケで提供している利用料無料の電話会議サービス。2月1日より WebRTC 対応ウェブブラウザからテレカン君の電話会議を利用できるようになる。

テレカン君のサービス利用料は無料ではあるが、会議室へ接続するための電話通話料は利用者の負担となっている。テレカン君の電話会議サービスを提供するソフトウェア PBX「Brekeke PBX」が WebRTC をサポート（2014年10月29日同社プレスリリース）したことにより、利用者はマイクとスピーカーがついたパソコン、タブレット、スマートフォンなどインターネットに接続できるウェブブラウザがあれば、通話料も無料で電話会議が利用できるようになる。

Brekeke PBX は、クラウドサービスとオンプレミスに対応した IP PBX システム。世界 50 か国で利用され、日本国内で 10 年以上の導入実績がある。「Brekeke コンタクトスイート」を追加することで、1台の IP PBX でオフィス機能とコンタクトセンター機能の両方を同時に利用・連携できる。

※関連：2014年10月31日号

ビジネス動向-国内

■音声・ビデオ・Web を統合した coSpaces を提供している Acano 社が日本進出、ユーザ数とバーチャル会議室を無限に拡張可能

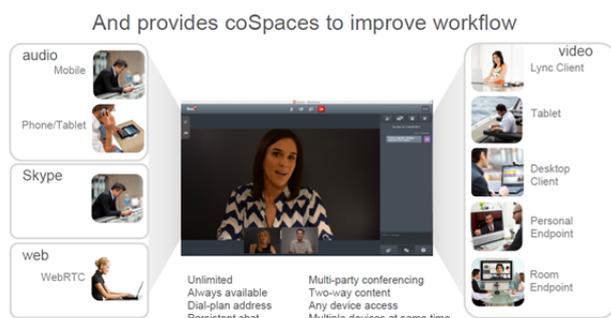
(テレビ会議取材：12月9日)

TATA Communications 社のクラウドビデオ会議サービス「jamvee」のプラットフォームとして採用されているなど Acano 社のアジア太平洋地区における事業は順調に拡大している。

「日本では、国内の主要企業 2 社と提携し 2015 年には Acano ソリューションの日本国内販売を正式に開始する予定だ。」と今後の展開を語るのは同社 APAC セールスディレクタ Tony Giufre 氏。

Acano 社は、音声・ビデオ・Web を統合したユニファイドコミュニケーションプラットフォーム「coSpaces(コースペース)」をサービス提供事業者や一般企業に販売している。coSpaces は、MCU やゲートウェ

イ、プレゼンスなどを仮想化技術（VMWare など）と組み合わせたコミュニケーションミドルウェアをベースに Acano 社が独自に開発したもの。



“皆”をつなぐ Acano coSpaces (Acano)

Acano 社は、タンバーク社やコーディアン社（現在両社ともシスコシステムズ）でビデオ会議システムの開発・販売で中心的な役割を果たした人材が 2012 年に立ち上げた会社だ。本社はイギリス・ロンドン。その他販売拠点はニューヨーク、ワシントン DC、スウェーデン、ノルウェーにある。現在の社員数は 129 名。販売パートナーは世界で 65 社にのぼる。

CEO は、シスコシステムズ TelePresence テクノロジー グループ上級副社長としてコラボレーション事業（シスコの前はタンバーク）を率いてきた OJ Winge 氏。また、タンバーク CEO を務めた経験のある Fredrik Halvorsen 氏が会長に就任している。さらに今回取材に応じた Tony Giufre 氏も長年のタンバーク経験者で、Acano 社ではアジア太平洋地域セールスの責任者だ。

「我々、Acano 社は、coSpaces 販売開始以来 15 か月という短期間で 1,200 社の顧客を獲得した。今も顧客は急速に増えており、それに伴って売上も拡大している。」
（Tony Giufre 氏）

企業内では多様なコミュニケーションツールが混在しており、プロトコルの違いなどから相互に接続することは難しいケースがある。Acano 社のコミュニケーションミドルウェアはそのような問題を解決するのが目的だ。

Acano ソリューションの特長は、相手がどんな端末や通信プロトコルを使っているかなどを気にすることなく、ユーザは、いつでもどこでもだれとでも（Everybody is invited）、PC、スマートフォン、タブレット、専用端末などを使い、相互にコミュニケーション/コラボレーションが行える「UC ソフトウェアプラットフォーム」を提供しているところにある。

「ユーザ数や coSpaces バーチャル会議室は無限に拡張できるのが Acano 社の大きな強みだ。」（Tony Giufre 氏）

coSpaces は、Intel サーバ上で稼働するシステム。基本構成（1 サーバ）では、HD ビデオについては最大 250 ポート、音声電話については最大 10,000 ポートに対応する。仮想化環境でクラスタリングにより複数台組み合わせることでユーザ数や Cospaces バーチャル会議室数を無限に拡張できる仕組みとなっている。この際、あたかもひとつの Cospaces サーバとして運用させることも可能だ。



Acano UC プラットフォーム (Acano)

誰もが参加できる大規模のビデオ環境を実現するためには、幅広い通信プロトコルをサポートすることが重要という。Cospaces では現在企業にて広く採用されている H.323、SIP、Lync (Office365)、Jabber、電話、IP-PBX（シスコ、アバイアなど）はもとより、最近注目されている Skype や WebRTC により coSpaces へ接続することも可能だ。

また、映像コーデックの面では、H.264 HP、H.264SVC

といった既存のテレビ会議では標準として採用されているもののほか、VP8/VP9、H.265 などこれから普及が期待される最新コーデックにも対応している。

導入方法にあわせて「オンプレミス」版、「クラウド」版、「ハイブリット」版をそれぞれ提供している。その他、ハードウェアアプライアンス「Acano Server」や、Acano ソリューションを効率的に運用管理する「Acano Manager」、スマートデバイス向けのアプリも提供している。なお、coSpaces のユーザインターフェイスはわかりやすい操作環境を提供しており、英語のほか、日本語、中国語、韓国語など多言語に対応している。

Acano 社のユーザライセンスは分散環境での使用を想定してシェアードライセンスを特徴としている。シェアードライセンスとは、複数の Acano サーバがライセンスを共有することで、ひとつのサーバが故障した場合でも他のサーバにライセンスを自動で引き継ぐことができるというものだ。

「Acano ソリューションは、大規模運用に耐える拡張性や信頼性、分散環境はもちろん、マルチテナントや API にも対応する。エンタープライズからサービスプロバイダーまでユーザニーズに柔軟に応じた導入が可能だ。」(Tony Giufre 氏)

■ブイキューブ：ドローンの商用利用に必要な不可欠な技術開発を行う Rapyuta Robotics 株式会社へ出資

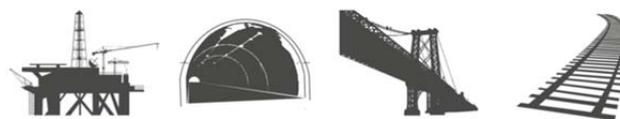
(1月26日)

株式会社ブイキューブ（東京都目黒区）は、ロボットシステムの開発事業を行う Rapyuta Robotics 株式会社（東京都新宿区、以下ラピュータ社）に出資したことを発表。

ラピュータ社は総額 3 億 5,100 万円の第三者割当増資を実施。CYBERDYNE 株式会社（茨城県つくば市）、株式会社フジクリエイティブコーポレーション（東京都

江東区）、SBI インベストメント株式会社（東京都港区）とともに引き受けたもの。

ラピュータ社は、チューリッヒ工科大学の認定ベンチャーとして、世界のロボット研究をけん引する Raffello D' Andrea 研究室の主要メンバーによって設立された会社で、セキュリティや点検といった業務を無人で行う低コストのマルチロボットを開発している。クラウド・ロボティクス、ダイナミクス制御、マルチロボットコーディネーションなどの技術に関する知財やノウハウおよび経験を持つ。



工場、トンネル、橋、線路など人が行きにくい場所の状況をドローンで把握



ドローンを通じて取得した映像を、V-CUBEを活用し、遠隔地にいる人にリアルタイムで共有しながら現場の状況把握や対策を協議することが可能



想定する利用シーン（ブイキューブ）

なお、クラウド・ロボティクス技術とは、クラウド上の膨大な演算処理能力とそこに蓄積された知識を利用してロボットを制御することでさまざまなサービスを実現する仕組み。ロボットの軽量化、小型化、低価格化、自動飛行などを可能にし、ロボット市場の拡大を実現する重要な要素とされている。

今回の出資により、ブイキューブのビジュアルコミュニケーションサービスとラピュータ社の技術を組み合わせることで、ドローンで撮影した映像をリアルタイムに V-CUBE 上で視認できるようにする。

これにより、老朽化が課題になっている橋梁やトンネルなどのインフラ点検のほか、人の立ち入りが容易でない高所、煙突があるプラント保守、災害現場での被害状況確認、エネルギー発電所、イベント会場といったところからビルのフロアまで、無人で警備するセキュリティ

を含めさまざまなシーンでの利用を想定している。

ブイキューブは、人と人とのコミュニケーションにとどまらず、人とモノ、人とマシーンなどこれまでになかった新たなビジュアルコミュニケーションを実現していくとしている。

■エイネット：マレーシアの IT 専門大学と共同でテレビ会議システムの開発とマーケティングを実施

(1月27日)

エイネット株式会社（東京都千代田区）は、マレーシアの IT 専門大学 University of Malaysia of Computer Science and Engineering(UniMy)と、テレビ会議システムの開発とマレーシア国内でのマーケティングについて、産学協同で行うことで合意した。

UniMy は、マレーシアでの ICT 人材育成を目指して開校した技術系大学。大学運営に豊富な経験を持つ Professor Datuk Dr Khairuddin Ab Hamid 氏が牽引し、ほぼ全員が奨学金を得ている優秀な学生のみを集めているという。また、Dr Khairuddin は UniMy に関して産学共同での運営方針をはっきりと打ち出しており、エイネットはその海外初のパートナーとなる。

エイネットと UniMy は、テレビ会議システムの製品開発、必要なカスタマイズ、マレーシアでの市場調査に共同で取り組む。

UniMy はエイネットに対し学内の事務所スペースやサーバを提供し、テレビ会議システム「フレッシュボイス」を学内のサーバに導入する。エイネットは必要な人材を UniMy 内に常駐させる。

UniMy の研究スタッフや学生は、日常的にテレビ会議に触れることで、マレーシアのビジネス環境に適した映像コミュニケーションシステムの研究開発に生かすことが可能になる。また、必要に応じて、常駐しているエイネットのエンジニアからアドバイスを受けることで、技術的なスキルを高めていくことが可能になる。

PR

>株式会社日立ハイテクノロジーズ

<http://cnar.jp/Hitachi-HighTech3.htm>

>株式会社シード・プランニング

<http://store.seedplanning.co.jp/item/8430.html>

セミナー・展示会情報

<国内・2月>

■BIG PAD を活用したクラウド型 Web 会議サービス

「TeleOffice」体感セミナー

日時：2月4日(水)/2月18日(水) 14:00~16:00

*2014年10月から2015年3月までの日程あり。

会場：シャープ株式会社 東京支社

主催：シャープビジネスソリューション株式会社

詳細・申込：

<http://www.sharp-sbs.co.jp/event/regular/teleoffice-b.html>

■「離れていても“会える”“伝わる” オンライン採用説明会・研修会」

日時：2月5日(木) 13:30~15:00

会場：Web セミナー

主催：ブイキューブ株式会社

詳細・申込：<https://vcube.smtkg.jp/public/seminar/view/170>

■WebRTC Conference Japan

日時：2月5日(木)～2月6日(金)

会場：ソラシティカンファレンスセンター

主催：WebRTC Conference Japan 実行委員会

詳細・申込：<http://webrtcconference.jp/>

■ビジュアルコラボレーション・システム導入支援セミナー
「グローバル設計の実現に向けたビジュアルコラボレーションの有効性」

日時：2月13日(金) 13:00~16:30 (受付：12:45)

会場：とちぎ産業交流センター 特別会議室

主催：パイオニア VC 株式会社

詳細・申込：<http://pioneer.vcube.com/event/>

■音声品質で後悔しないための Web 会議導入・活用セミナー

日時：2月13日(金) 15:30～17:30 (受付開始 15:00)
 会場：キヤノンソフトウェア大阪堺筋事業所 (大阪市中央区)
 主催：キヤノンソフトウェア株式会社
 詳細・申込：<http://www.canon-soft.co.jp/seminar/rd.html?268>

■音声品質で後悔しないための Web 会議導入・活用セミナー

日時：2月19日(木) 15:30～17:30 (受付開始：15:00)
 会場：キヤノンソフトウェア本社 (東京都品川区)
 主催：キヤノンソフトウェア株式会社
 詳細・申込：<http://www.canon-soft.co.jp/seminar/rd.html?270>

■さわってわかる電子黒板・遠隔講義システム・タブレット端末！学習効果アップ体感セミナー ～4月からすぐに始められる！大学のICT教育トレンドと最新事例～

日時：2月19日(木) 14:00～16:00
 会場：ブイキューブ本社 (東京都目黒区)
 主催：株式会社ブイキューブ
 詳細・申込：<https://vcube.smktg.jp/public/seminar/view/171>

<海外・3月>

■EnterpriseConnect 2015

Communications Transforming Business

日時：3月16日～3月19日
 会場：アメリカ フロリダ州オーランド Gaylord Palms
 Resort & Convention Center
 主催：United Business Media company
 詳細・申込：<http://www.enterpriseconnect.com/orlando/>

国内その他：<http://cnar.jp/cna/event-j.html>

海外その他：<http://cnar.jp/cna/event-r.html>

※イベント情報は随時情報が入り次第掲載しております。
 なお、海外イベント情報は近日、2015年情報を掲載します。

アーカイブ電子ブック版

>2003年-2013年：

http://www.catalog-square.co.jp/cna_report/

>2014年-2015年：

http://www.catalog-square.co.jp/cna_ebook/

電子ブック制作：カタログスクウェア株式会社

<http://www.catalog-square.co.jp>

CNAレポート・ジャパン2015年1月31日号おわり

ホームページ：<http://cnar.jp> お問い合わせ：cnar@cnar.jp